ポインティング デバイスおよび キーボード

製品番号：404163-291

2006年3月

このガイドでは、ポインティング デバイスおよびキーボードについて説明します。

目次

1 ポインティング デバイス

タッチパッド（一部のモデルのみ） 1–1
タッチパッドの使用 1–2
ポインティング スティック（一部のモデルのみ） 1–3
ポインティング スティックの使用 1–3
外付けマウスの使用 1–4
タッチパッド機能のカスタマイズ 1–4

2 キーボード

ホットキー 2–1
ホットキーのクイック リファレンス 2–2
ホットキーの操作 2–2
スタンバイの起動（[fn]＋[f3]） 2–3
表示画面の切り替え（[fn]＋[f4]） 2–3
バッテリ パック充電情報の表示（[fn]＋[f8]） 2–4
輝度を下げる（[fn]＋[f9]） 2–5
輝度を上げる（[fn]＋[f10]） 2–5
システム情報の表示および消去（[fn]＋[esc]）. 2–5
HP Quick Launch Buttons（一部のモデルのみ） 2–6
Presentation Button. 2–8
Info Center Button 2–9
HP Quick Launch Buttonsの[設定] 2–10
HP Quick Launch Buttonsの[設定]の起動 2–11
ボタンの設定 2–11
Q Menuの表示. 2–13
タイリングの設定 2–17
[ズーム]の設定 2–17
その他の設定 2–18
Info Center 2–19

3 テンキー

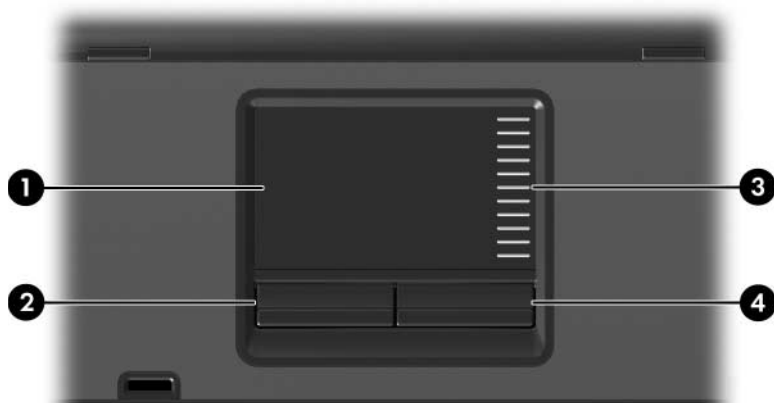
内蔵テンキーの使用 3–3
内蔵テンキーの有効/無効の切り替え 3–3
内蔵テンキーの機能の切り替え 3–3
外付けテンキーの使用 3–4
作業中のNum Lockモードの有効/無効の切り替え 3–4

索引

1

ポインティング デバイス

タッチパッド（一部のモデルのみ）

次の図および表では、コンピュータのタッチパッドについて説明します。

名称		機能
❶	タッチパッド*	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択またはアクティブにしたりします。スクロールやダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます
❷	左のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します

（続く）

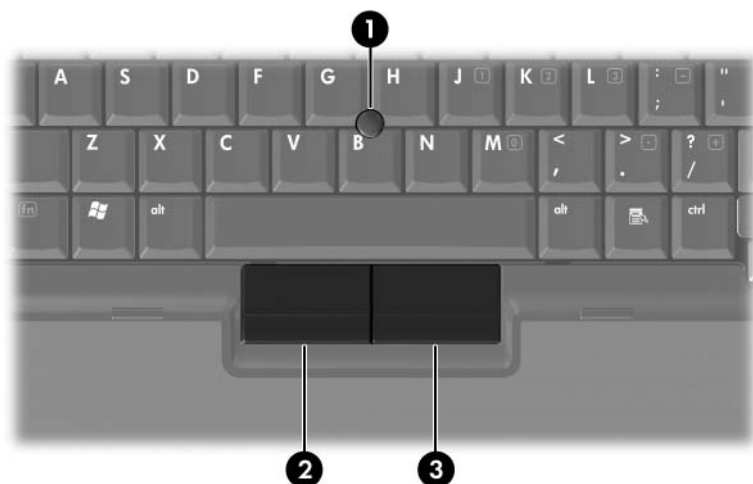
名称		機能
❸	タッチパッドのスクロール ゾーン*	画面を上下にスクロールします
❹	右のタッチパッド ボタン*	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します

*この表ではデフォルト設定について説明しています。タッチパッドの設定を表示したり変更したりするには、[スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]の順に選択します。タッチパッドの設定について詳しくは、「タッチパッド機能のカスタマイズ」を参照してください。

タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指をスライドさせます。タッチパッドのボタンは、外付けマウスの対応するそれぞれのボタンと同様に機能します。タッチパッド垂直スクロール ゾーンを使用して画面を上下にスクロールするには、スクロール ゾーンの線上で指を上下にスライドさせます。

ポインタの移動にタッチパッドを使用している場合、まずタッチパッドから指を離し、その後でスクロール ゾーンに指を置きます。タッチパッドからスクロール ゾーンへ指を動かすだけでは、スクロール機能はアクティブになりません。

ポインティング スティック（一部のモデルのみ）

	名称	機能
❶	ポインティング スティック	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択またはアクティブにしたりします
❷	左のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左のボタンと同様に機能します
❸	右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの右のボタンと同様に機能します

ポインティング スティックの使用

ポインタを移動するには、ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。ポインティング スティックのボタンは、外付けマウスの対応するそれぞれのボタンと同様に機能します。

外付けマウスの使用

外付けUSBマウスは、コンピュータにあるUSBポートのどれか1つを使用してコンピュータに接続できます。USBマウスは、別売のドッキング デバイスのポートを使用してシステムに接続することもできます（一部のモデルのみ）。

タッチパッド機能のカスタマイズ

Microsoft® Windows®の**[マウスのプロパティ]**を使用して、次のようにポインティング デバイスの設定をカスタマイズできます。

- タッチパッドのタップ。タッチパッドを1回タップするとオブジェクトを選択し、2回タップするとオブジェクトをダブルクリックするように設定できます（デフォルトで有効に設定されています）。
- エッジ モーション。指がタッチパッドの端まできてもスクロールし続けるように設定できます（デフォルトで無効に設定されています）。
- ボタン機能のカスタマイズ。左利き用および右利き用にボタンの設定を変更できます（デフォルトでは右利き用の設定が有効になっています）。

マウスの速度や軌跡などの機能も**[マウスのプロパティ]**で設定できます。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、次の操作を行います。

» **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[プリンタとその他のハードウェア]**→**[マウス]**の順に選択します。

2

キーボード

次の項目では、コンピュータのキーボード機能について説明します。

お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。また、下の図は英語版のキー配列ですので、日本語版のキー配列とは若干異なります。

ホットキー

ホットキーは、[fn]キー❶と、[esc]キー❷またはファンクション キー❸との組み合わせです。

ホットキーの機能は、[f3]、[f4]、および[f8]～[f10]のファンクション キーにアイコンで示されています。ホットキーの機能および操作については次の項目で説明します。

ホットキーのクイック リファレンス

実行する機能	キーの組み合わせ
スタンバイの起動	[fn]+[f3]
スタンバイ状態からの復帰	電源ボタン
コンピュータのディスプレイと 外付けディスプレイの画面の切り替え	[fn]+[f4]
バッテリ情報の表示	[fn]+[f8]
バッテリ情報の消去	[fn]+[f8]
画面の輝度を下げる	[fn]+[f9]
画面の輝度を上げる	[fn]+[f10]
システム情報の表示	[fn]+[esc]
システム情報の消去	[fn]+[esc]または[OK]を押す

ホットキーの操作

コンピュータのキーボードでホットキー コマンドを使用するには、以下の操作のどちらかを行います。

■ [fn]キーを短く押し、次にホットキー コマンドの2番目のキーを短く押します。

または

■ [fn]キーを押しながら、ホットキー コマンドの2番目のキーを短く押し、両方のキーを同時に離します。

スタンバイの起動（[fn]+[f3]）

スタンバイを起動するには、[fn]＋[f3]ホットキーを押します。

スタンバイが起動すると､作業中のファイルがランダム アクセス メモリ（RAM）に保存され、画面がクリアされて節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態の間は、電源ランプが点滅します。

スタンバイを起動する前に、コンピュータの電源がオンになっている必要があります。コンピュータがハイバネーション状態の場合は、スタンバイを起動する前にハイバネーションから復帰する必要があります。

スタンバイから復帰するには、電源ボタンを短く押します。ハイバネーションから復帰するには、電源ボタンを短く押します。

[fn]＋[f3]ホットキーの機能は変更することができます。たとえば、[fn]＋[f3]ホットキーを押すと､スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。Windowsオペレーティング システムのウィンドウでの「スリープ ボタン」に関する記述はすべて、[fn]＋[f3]ホットキーに当てはまります。

表示画面の切り替え（[fn]+[f4]）

[fn]＋[f4]ホットキーを押すと、システムに接続されているディスプレイデバイスの間で表示画面を切り替えることができます。たとえば、コンピュータにモニタを接続している場合は、[fn]＋[f4]ホットキーを押すたびに、コンピュータ本体のディスプレイ、モニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外部VGAビデオ方式を使ってコンピュータからビデオ情報を受け取ります。[fn]＋[f4]ホットキーでは､Sビデオのような外部VGA以外の方式を使用するデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

次のビデオ伝送方式が[fn]＋[f4]ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD（コンピュータ本体のディスプレイ）
- 外部VGA（ほとんどの外付けモニタ）
- Sビデオ（Sビデオ入力コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオ キャプチャ カード）

バッテリ パック充電情報の表示（[fn]＋[f8]）

[fn]＋[f8]ホットキーを押すと、コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリ パックの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリ パックと、各バッテリ パックの残量が確認できます。

バッテリ パックの位置は、次の番号で表示されます。

- #1はメイン バッテリ パックです。
- #2は別売のバッテリ パックです。

輝度を下げる（[fn]＋[f9]）

[fn]＋[f9]ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度が少しずつ変わります。

輝度を上げる（[fn]＋[f10]）

[fn]＋[f10]ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度が少しずつ変わります。

システム情報の表示および消去（[fn]＋[esc]）

[fn]＋[esc]ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやシステムBIOS（Basic Input/ Output System）のバージョン番号に関する情報が表示されます。

[fn]＋[esc]ホットキーで表示される画面では、システムBIOSのバージョンはBIOSの日付として表示されます。コンピュータのモデルによっては、BIOSの日付は小数点で区切られた形式で表示されます。BIOSの日付は、システムROMのバージョン番号とも呼ばれます。

[fn]＋[esc]ホットキーで表示される画面を消去するには、[esc]キーを押すか、または[OK]キーを押します。

HP Quick Launch Buttons（一部のモデルのみ）

HP Quick Launch Buttons（HPクイック ローンチ ボタン）を使用して、頻繁に使用するプログラムを開きます。頻繁に使用するプログラムは、HP Quick Launch Buttonsの[**設定**]ではアプリケーションと呼ばれる場合があります。

名称	機能
❶ Info Center Button（Info Centerボタン）	Info Centerを起動します。Info Centerを使用して、さまざまなソフトウェア ソリューションを起動できます。次のどれかの操作を実行するように、このボタンを再設定することもできます ■ プレゼンテーション機能を開始するかQ Menu（Qメニュー）を起動する ■ 電子メール アプリケーションを起動する ■ Web サイトを検索する検索ボックスを起動する 詳しくは、「ボタンの設定」または「Info Center」を参照してください

（続く）

名称	機能
❷ Presentation Button（プレゼンテーション ボタン）	プレゼンテーション機能をオンにします。プログラム、フォルダ、ファイル、またはWebサイトを開き、コンピュータ本体の画面と外付けデバイスの両方に同時に表示します。詳しくは、「Presentation Button」を参照してください 次のどれかの操作を実行するようにPresentation Buttonを再設定することができます ■ Q MenuまたはInfo Centerを起動する ■ 電子メール アプリケーションを起動する ■ Web サイトを検索する検索ボックスを起動する Presentation Buttonの再設定については、「ボタンの設定」を参照してください

Presentation Button

Presentation Buttonを初めて押したときに、**[プレゼンテーション設定]**ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスでは、次のどれか1つの操作を実行するようにボタンを設定することができます。

- 指定したプログラム、フォルダ、ファイル、またはWebサイトを開く
- 電源設定を選択する
- 表示設定を選択する

コンピュータ本体の画面と次のどれかに接続された外付けデバイスに同時に画像が表示されます。

- 外付けモニタ ポート
- 背面のSビデオ出力コネクタ
- 別売のドッキング デバイスのポートおよびコネクタ

Presentation Buttonをデフォルトの設定で使用しない場合、次のどれかの操作を実行するようにボタンを再設定することができます。

- Q MenuまたはInfo Centerを起動する
- 電子メール アプリケーションを起動する
- Webサイトを検索する検索ボックスを起動する

Info Center Button

Info Center Buttonを初めて押したときに、[Info Center]が開き、プリセットされているソフトウェア ソリューションを起動できるようになります。Info Center Buttonをデフォルトの設定で使用しない場合、次のどれかの操作を実行するようにボタンを再設定することができます。

- Q Menuまたはプレゼンテーション機能を起動する
- 電子メール アプリケーションを起動する
- Webサイトを検索する検索ボックスを起動する

HP Quick Launch Buttonsの[設定]

HP Quick Launch Buttonsの[設定]の一覧には、お使いのコンピュータによってサポートされていない操作もあります。

HP Quick Launch Buttonsの[設定]を使用して、以下の操作を行えます。

- Presentation ButtonおよびInfo Center Buttonのプログラム、およびそれぞれのボタンの設定の変更
- Q Menuの項目の追加、変更、および削除
- Windowsデスクトップに表示されるウィンドウのタイリングの設定
- オペレーティング システムおよびプログラム内のフォントやアイコンのサイズの調整
- その他の設定（次の項目を含む）
  - [HP Quick Launch Buttons]アイコンの表示設定
  - 管理者以外のユーザによるボタンの割り当て変更の許可
  - オプションの外付けキーボードにあるイージー アクセス ボタンの割り当て変更の許可
  - HP Quick Launch Buttonsのデスクトップ通知の表示
  - 自動モード変更の有効/無効の切り替え
  - [ディスプレイ スイッチ]の有効/無効の切り替え
  - [クイック スイッチ]の有効/無効の切り替え
  - 表示解像度の変更検知機能の有効/無効の切り替え

以下の項目では、[設定]内での設定方法について説明します。[設定]の項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンをクリックしてください。ヘルプ ボタンは、疑問符のアイコンで示されています。

HP Quick Launch Buttonsの[設定]の起動

次のどれかの方法でHP Quick Launch Buttonsの[設定]を起動することができます。

■ [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[HP Quick Launch Buttons]の順に選択します。

■ タスクバーの右端の通知領域にある[HP Quick Launch Buttons]アイコンをダブルクリックします。

■ [HP Quick Launch Buttons]アイコンを右クリックして、[HP Quick Launch Buttonsのプロパティの調整]を選択します。

ボタンの設定

HP Quick Launch Buttonsの[設定]で、[プログラム可能なボタン]をクリックします。

次のどれかの操作を実行するようにボタンを設定することができます。

■ ボタンを押すとQ MenuまたはInfo Centerを起動するように設定するには、次の手順で操作します。

1. 設定したいボタンの隣にある下向き矢印をクリックして、[Q Menu]または[HP Info Center]をクリックします。

✎ Q Menuについて詳しくは、「Q Menuの表示」を参照してください。

2. 設定を保存して[設定]を閉じるには、[OK]をクリックします。

■ ボタンを押すと電子メール アプリケーションを起動するか、またはWebサイトを検索するように設定するには、次の手順で操作します。

1. 設定したいボタンの隣にある下向き矢印をクリックして、[Launch eMail]（電子メールの起動）または[Search URL]（URLを検索）をクリックします。

2. 設定を保存して[設定]を閉じるには、[OK]をクリックします。

■ ボタンを押すとプログラム、フォルダ、ファイル、またはWebサイトを開くように設定するには、次の手順で操作します。

1. 設定したいボタンの隣にある下向き矢印をクリックして、[プレゼンテーション]をクリックします。
2. [設定]ボタンをクリックします。
3. [起動するプログラム]の下のボックスに、プログラム、フォルダ、ファイル、またはWebサイトのURLを入力します。

   または

   [参照]をクリックして利用可能なプログラム、フォルダ、ファイル、またはWebサイトを検索し、1つをクリックして選択します。
4. 現在のプレゼンテーション機能の電源設定を表示または変更するには、[電源設定]の一覧からオプションをクリックするか、[電源オプション]をクリックしてコントロール パネルの[電源オプション]を開きます。

   ✎ デフォルトでは、Presentation Buttonを押すとプレゼンテーション機能の電源設定が選択されます。
5. プレゼンテーション機能の表示設定を選択するには、[内蔵のみ]、[デュアル ディスプレイ]、または[拡張デスクトップ]をクリックします。

   ✎ デフォルトでは、[内蔵のみ]の表示設定が選択されています。[拡張デスクトップ]の設定を選択すると、最適な解像度をコンピュータが決定するオプションを選択できます。[最適な解像度をシステムが決定する]チェックボックスにチェックを入れて、[適用]をクリックします。[拡張デスクトップ]の設定を選択すると、コンピュータと外付けモニタの両方の画面の解像度を選択できます。Presentation Buttonを押してディスプレイの表示を切り替えることができます。その場合、電源設定は元の設定に戻ります。
6. Presentation Buttonを押したときに起動画面が表示されないようにするには、[次回からこのダイアログ ボックスを表示しない]チェックボックスのチェックを外します。
7. 設定を保存して[設定]を閉じるには、[OK]をクリックします。

Q Menuの表示

Q Menuには、さまざまなシステム タスクに簡単にアクセスできる機能があります。これらの機能は、ほとんどのコンピュータのボタン、キー、またはホットキーに対応しています。

デスクトップでQ Menuを表示するには、次の操作を行います。

» [HP Quick Launch Buttons]アイコンを右クリックして、[Q Menuの起動]を選択します。

Q Menuの設定

Q Menuには、最大で40項目を表示できます。いくつかのシステム定義項目は、デフォルトで表示されます。これらの項目を表示させるか表示させないかを選択できます。ユーザ定義項目のみを追加、修正、および削除することができます。

Q Menuの項目は、[Q Menuに表示する項目]リストを使用して管理します。

Q Menuの項目の削除

Q Menuから項目を削除するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[設定]で、[Q Menu]タブをクリックします。
2. [Q Menuに表示する項目]リストで、削除するそれぞれの項目のチェックボックスのチェックを外します。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、[OK]をクリックします。

Q Menuの項目の追加

[Q Menuに表示する項目]リストの項目をQ Menuに追加するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[設定]で、[Q Menu]タブをクリックします。
2. [Q Menuに表示する項目]リストで、追加するそれぞれの項目のチェックボックスにチェックを入れます。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、[OK]をクリックします。

Q Menuへのユーザ定義項目の追加

[Q Menuに表示する項目]リストにない項目（ドライブ上、ネットワーク上、またはインターネット上の項目など）を[Q Menuに表示する項目]リストとQ Menuに追加するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[設定]で、[Q Menu]タブをクリックします。
2. [追加]をクリックします。
3. [新しいメニュー項目の追加]ダイアログ ボックスでは、入力または参照によって項目を追加できます。
   - ❏ キーボードを使用して項目を追加するには、[表示名]ボックスに項目の名前を入力し、[ファイル名]ボックスに項目のパスを入力します。[表示名]を入力して、[ファイル名]を参照する場合は、[ファイル名]ボックスは空白のままにします。
   - ❏ 参照によって項目を追加するには、[参照]ボタンをクリックします。

     ウィンドウ上で項目を選択します。項目の完全名が[ファイル名]ボックスに表示されます。[表示名]ボックスに名前を入力しなかった場合は、項目名から表示名が生成されて、[表示名]ボックスに表示されます。
4. 設定を保存してダイアログ ボックスを閉じるには、[OK]をクリックします。

ユーザ定義項目の変更

ユーザ定義項目は変更できますが､システム定義項目は変更できません。[Q Menuに表示する項目]リストでシステム定義項目を選択した場合､[修正]ボタンは使用できません。

ユーザ定義項目の表示名やファイル名を変更するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[設定]で、[Q Menu]タブをクリックします。
2. [Q Menuに表示する項目]リストから項目をクリックします。
3. [修正]をクリックします。
   - ❏ キーボードを使用して項目の表示名またはファイル名を変更するには、[表示名]ボックスに項目の新しい名前を入力するか、[ファイル名]ボックスに項目の新しいパスを入力します。[表示名]を入力して、[ファイル名]を参照する場合は、[ファイル名]ボックスは空白のままにします。
   - ❏ 参照によって表示名またはファイル名を変更するには、[参照]ボタンをクリックします。

     ウィンドウ上で項目を選択します。項目の完全名が[ファイル名]ボックスに表示されます。[表示名]ボックスに名前を入力しなかった場合は、項目名から表示名が生成されて、[表示名]ボックスに表示されます。
4. 設定を保存してダイアログ ボックスを閉じるには､[OK]をクリックします。

Q Menu項目の位置の変更

Q Menu上で項目の位置を変更するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[**設定**]で、[Q Menu]タブをクリックします。
2. [Q Menu**に表示する項目**]リストから項目を選択して、次の操作を行います。
   - ❏ 項目を上方向に移動するには、[**上に移動**]ボタンをクリックします。
   - ❏ 項目を下方向に移動するには、[**下に移動**]ボタンをクリックします。
3. 設定を保存して[**設定**]画面を閉じるには、[OK]をクリックします。

[Q Menuに表示する項目]リストからの項目の削除

システム定義項目は、[Q Menu**に表示する項目**]リストから削除できません。ユーザ定義項目を削除するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[**設定**]で、[Q Menu]タブをクリックします。
2. 削除する項目をクリックします。
3. [**削除**]をクリックします。
4. 設定を保存して[**設定**]を閉じるには、[OK]をクリックします。

タイリングの設定

Windowsデスクトップで、複数のウィンドウが重ならないように並べて表示する、タイリングを設定するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[設定]で、[Q Menu]タブをクリックします。
2. [上下に並べて表示]または[左右に並べて表示]をクリックしてから、並べて表示するプログラムを[現在実行中のアプリケーション]ボックスでクリックします。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、[OK]をクリックします。

[ズーム]の設定

オペレーティング システムおよびプログラム内のフォントおよびアイコンのサイズを変更するには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[設定]で、[ズーム]タブをクリックします。
2. スライダを使用してオペレーティング　システム内のフォントおよびアイコンのサイズを調節し、プログラム内のタイトルおよびメニューのフォント サイズを調節します。
3. オペレーティング システムとプログラムの設定を同期するには、[OSとアプリケーションの設定を同期する]チェックボックスにチェックを入れます。
4. 設定を保存して[設定]を閉じるには、[OK]をクリックします。

デフォルトの設定に戻すには、[デフォルト]ボタンをクリックします。

その他の設定

HP Quick Launch Buttonsの[Preferences]（カスタマイズ）タブで、その他の設定を行うことができます。

[Preferences]の一覧には、お使いのコンピュータによってサポートされていない設定もあります。

その他の設定を行うには、以下の手順で操作します。

1. HP Quick Launch Buttonsの[設定]で、[Preferences]タブをクリックします。
2. 設定を表示するか有効にするには、項目の隣にあるチェックボックスにチェックを入れます。

   または

   設定を削除するか無効にするには、項目の隣にあるチェックボックスのチェックを外します。
3. 設定を保存して[設定]を閉じるには、[OK]をクリックします。

[Preferences]タブの項目に関する画面上での説明については、ウィンドウの右上隅にあるヘルプ ボタンをクリックしてから、項目をクリックしてください。ヘルプ ボタンは、疑問符のアイコンで示されています。

Info Center

Info Centerを使用して、次のソフトウェアを起動することができます。

- HPへの問い合わせ
- ヘルプとサポート
- HPモバイル データ プロテクション
- ノートブック オプション製品ツアー
- ProtectToolsセキュリティ マネージャ
- Software Setup
- Wireless Assistant
- システム情報

Info Centerにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. Info Centerボタンを押します。

   または

   [スタート]→[Info Center]の順に選択します。
2. [Info Center] ウィンドウで、起動するソフトウェアをクリックします。

詳しくは、Info Centerのヘルプを参照してください。

3

テンキー

お使いのコンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

お使いのコンピュータの外観は、図と多少異なる場合があります。

上の図は英語版のキー配列です。日本語版のキー配列とは若干異なりますが、内蔵テンキーの位置は同じです。

番号	名称
❶	Num Lockランプ
❷	[num lock]キー
❸	内蔵テンキー
❹	[fn]キー

内蔵テンキーの使用

15個の内蔵テンキーは外付けテンキーと同じように使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの右上隅にあるアイコンで示された機能が実行されます。

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、[fn]＋[num lock]キーを押します。Num Lockランプが点灯します。[fn]＋[num lock]キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。

外付けキーボードやテンキーがコンピュータまたは別売のドッキングデバイスに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

[fn]キーまたは[fn]＋[shift]キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーの機能をテンキーの入力機能に変更するには、[fn]キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、次の操作を行います。
    - 小文字を入力するには、[fn]キーを押しながら文字を入力します。
    - 大文字を入力するには、[fn]＋[shift]キーを押しながら文字を入力します。

外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lockモードがオンのときとオフのときとで機能が異なります（デフォルトでは、Num Lockモードはオフになっています）。たとえば、次のようになります。

- Num Lockがオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lockがオフのときは、矢印キー、[page up]キー、[page down]キーと同様に機能します。

外付けテンキーでNum Lockモードをオンにすると、コンピュータのNum Lockランプが点灯します。外付けテンキーでNum Lockをオフにすると、コンピュータのNum Lockランプが消灯します。

外付けテンキーを接続している場合は、内蔵テンキーを使用することができません。

作業中のNum Lockモードの有効/無効の切り替え

作業中に外付けテンキーのNum Lockモードのオンとオフを切り替えるには、次の操作を行います。

» コンピュータではなく、外付けテンキーの[num lock]キーを押します。

索引

F

[fn]キー 3–2

I

Info Center Button 2–6

N

[num lock]キー 3–2
Num Lockモード
　無効化 3–3, 3–4
　有効化 3–3, 3–4
Num Lockモードの無効化 3–3, 3–4
Num Lockモードの有効化 3–3, 3–4
Num Lockランプ 3–2

P

Presentation Button 2–7, 2–8, 2–9

Q

Quick Launch Buttons 2–6, 2–10

S

[shift]キー 3–3

か

キー
　[fn] 3–2
　[num lock] 3–2
　[shift] 3–3
　ファンクション 2–1
　ホットキー 2–1

さ

システム情報、表示 2–5
スクロール ゾーン、タッチパッド 1–2
スタンバイの起動 2–3
外付けテンキー 3–4
外付けマウス 1–4

た

タイリング、設定 2–17
タッチパッド
　使用 1–2
　設定 1–4
　説明 1–1
テンキー
　外付け 3–4
　内蔵 3–2
電源、設定 2–12

な

内蔵テンキー 3–2

は

バッテリ充電、情報の表示 2–4
表示画面の切り替え 2–3
ファンクション キー 2–1
プレゼンテーション機能、設定 2–11
ホットキー
　位置 2–1
　クイック リファレンス 2–2
ホットキー コマンド
　画面の輝度を上げる 2–5
　画面の輝度を下げる 2–5
　システム情報の表示 2–5
　スタンバイの起動 2–1, 2–2
　バッテリ充電情報 2–4
　表示画面の切り替え 2–3

ボタン
- Info Center Button 2–6
- Presentation Button 2–7, 2–8, 2–9
- Quick Launch Buttons 2–6, 2–10
- タッチパッド 1–1

ポインティング スティック
- 位置 1–3
- ボタン 1–3

ら

ランプ、Num Lock 3–2

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。

警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ポインティング デバイスおよびキーボード
初版 2006年3月
製品番号：404163-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社